

5月度新入会員のご紹介

【水戸支部】



西野 克宏さん  
西野 鈺金 塗装  
専務

【水戸支部】



鈴木 聡之さん  
(株)ORIGINALZ  
代表取締役

どうぞよろしく  
お願いします！

会員は  
辞書の1ページ

茨城同友会会員数 293名

6月8日理事会時点

支部	日立	県央海浜	水戸	南西	県西	ドラゴン
現会員数	36	27	110	62	28	30
2021年度 支部目標	55	35	120	74	33	35

7月の行事予定

- 7/1 第4回ゴルフコンペ
- 7/6 執行部会議 (Zoom)
- 7/7 日立支部例会
- 7/8 ドラゴン支部例会
- 7/10 関東甲信越  
青年経営者フォーラム
- 7/13 理事会 (Zoom)
- 7/15 各支部幹事会
- 7/16 幹部社員研修会第2講
- 7/17 経営指針を創る会第2講
- 7/19 役員研修会
- 7/23 フォーラム実行委員会
- 7/28 水戸支部例会

【編集後記】

会員の皆さまにはいつも会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。

『左右盲』って聞いたことありますか？簡単に言えば、「右手を挙げて！」と言われてもすぐにはどちらかわからない。右と左の判断に時間がかかる、条件反射的に分らないといった症状です。左利きを右利きに矯正した人が、その調教の過程で左右の判断基準（例えば「お箸は右」など）に混乱をきたし、発症することが多いともいわれているそうです。

はい、私まさにこの「左右盲」なんです（泣）視力検査は大嫌いだっだし、道案内もできないし、教習所では逆にハンドルをきり何度教官に怒られたことか（ノド）のツツク…この言葉を知るまでは、周りからも家族からもバカ扱いでした…。自分でもただのバカだと思ってた（笑）数年前にネットで「左右盲」の記事を読んだときは当てる事はばかりで衝撃でした。矯正しなくて良かったのに…。サウスポーかっこよかったのに…。でもまあ今さら仕方ないことなので！これも自分の個性だと思いつき合っていこうと思います。そしてみなさま、左右が分からない大人もいるという事を知っていただき、どうか温かい目で見守って下さい（\*ω\*） (shimo)

No.300号 2021年6月30日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

各支部総会が行われました

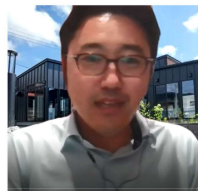
茨城同友会第36期がスタートし、5月には各支部総会が順次開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症が未だ収束をみせず、従来の活動が出来ない状態をどこまで続けざるを得ないのか不安に駆られる状況でありました。そうした中でも今期は「会員相互の英知を結集し、環境変化に対応し続け、維持発展する企業づくりに取り組もう！」～こんな時こそ同友会！ポスト・コロナを見据えた連携と変革で、未来を創る～というスローガンのもと各支部スタートをきりました。



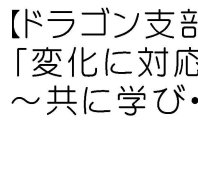
【日立支部】支部長:菊池 剛さん  
独立自尊 そして実践、不離一体経営



【県央海浜支部】支部長:高村 尚志さん  
会員への積極的アプローチ、情報の共有



【水戸支部】支部長:大月 章子さん  
会員同士が英治を出し合い、これからの未来を見据え、自己成長を築きあげよう。



【南西支部】支部長:宇田川 真由美さん  
”団結”  
～未来を信じて、逆境で進化する～



【県西支部】支部長:八巻 大介さん  
良い会社、良い経営者、  
強い会社、強い経営者になろう

【ドラゴン支部】支部長:池田 裕児さん  
「変化に対応し、柔軟な考えを持った経営者になる！」  
～共に学び・変革を楽しみ、いい会社・いい地域を育てよう～

# 日立支部

5月12日(水) 日立産業支援センター・Zoom同時配信  
報告者:磯崎 俊成さん ニコスタンパ合同会社 代表  
『ココロに刺さる広告のつくり方  
～今の自分に、会社にとって必要なものとは何か～』



2021年度総会が若干寂し目だったことと对象的に全方位に刺激的で熱気にあふれる5月例会となりました。報告者は水戸支部のニコスタンパ合同会社の磯崎俊成さん。水戸の金獅子！？とも評される磯崎さんが仕事をする上で大切にしているのはクライアントの想いを汲み取ることもさることながら、クライアントの伝え先であるエンドユーザーの視点です。それ故に今回例会で掲げたタイトルは『ココロに刺さる広告のつくり方』参加者は会場18名zoom20名とここ最近で一番の動員をすることができました。報告の中で、いま広告業界は手法が様々なものが次々とあらわれてくる状況なので自らを縛ってしまう定義は せずに柔軟に対応してゆくという磯崎さんの考えが述べられ、『事業定義』をテーマに

1年例会を作ってきた日立支部として改めて自社にとって必要なことなのか？盲目的になっていないか？それぞれが振り返る良い問題提起をいただきました。今までやってきたことがいつしかエンドユーザーのニーズから外れてしまっていないか？目的と手段が入れ替わってしまっていないか？などグループ討論もいうまでもなく白熱し新年度スタートにふさわしい例会でした！  
(レポート:菊池 剛さん)

# 県央海浜支部

5月18日(火) Zoom配信  
報告者:矢内 久子さん (株)千成屋 代表取締役  
『逆風こそ、順風に変えていく！  
千成屋の行動チャンスとは？』



矢内社長と出会った時、当初私は女性経営者の矢内さんと云う見方をしていました。コロナ禍前の矢内社長は先細りが予想される成人式事業の中で出費を抑え、経営効率を上げる事により利益を確保する事を注力され、新たな事業展開に

ついてはまだ産声を上げたばかりだったからです。経営に対して過激な性格の私は、既成概念を打ち壊して信念を貫き、新境地を開拓する。誰にでも出来る事を誰にも真似出来ない位努力する事によって目標を達成する事を信条としていました。そんな自分とは大分視点が違うと云うのが第一印象でした。でもその第一印象はすぐ打ち壊されます。環境の変化の中で次の一手を出遅れる事なく出ているように見えました。そこにはやりくり上手な久子ちゃんと言ふよりは、ピンチだからこそ打って出るハートの強さ、冷静な判断力があります。それはまるで経験豊富な熟練の経営者そのものに思えました。そんな矢内社長の秘密に迫った驚きと学びの多い例会となりました。  
(レポート:大島 邦博さん)

例会等行事のお申し込み・ご連絡には[e.doyu]をご活用ください!!



例会開催のご案内などメールが届いていない方はいませんか？  
IDやパスワードが分からなくなってしまった方はいませんか？  
ぜひ一度ご確認をお願い致します。お問い合わせは事務局まで！

<https://ibaraki.e-doyu.jp>



# 水戸支部

5月26日(水) 茨城県総合福祉会館・Zoom同時配信  
報告者:関 崇宏さん (有)アクト農場 取締役  
『いつのまにかビニールハウス棟数日本一(自称)の農家  
～成長の鍵はスタッフを信じる事～』



水戸支部5月例会では、有限会社 アクト農場の関崇宏さんをお迎えして、ビニールハウス日本一(自称)になった規模拡大の立役者である中国人実習生の活躍を支えたお話を、関さんが大事にしているたい肥作りは、組織作りに通ずる話をして頂きました。5月例会は諸事情により、1ヶ月での作り込みになりました。例会作りを進めていくなかで印象的だった言葉は、関さんの「当たり前なんですけど、」「普通の事なんですけど、」「野菜にも人にもストレスフリー」というワードでした。

報告にもあった「中国人実習生の前に人であって、人生をかけて国が違う場所で働く俺には出来ない。尊敬している。」と言っていた関さん。社員が働きやすい環境とは？という状況が楽しく仕事が出来る環境なのか？を日頃のコミュニケーションから察知し、実行しています。人と人は尊敬・信頼があって成り立っている。壁を勝手に作っているのは、我々の方なのではないか？「社員の為に！社員の為に！」を合言葉に、自分が理想とする会社像、社員像を社員に押し付けていないだろうか？うちは、困り事がないのではなく、スタッフが発言しにくい環境になっていないか？“社員のために雇用を守る！”“スタッフにお金を稼がせる！”当たり前を当たり前。それは、特別な事をするのではなく、人と同じ目線で仲間として、どれだけスタッフの為に働きやすい環境を作れるか？なのかもしれません。改めて気づきの多かった関さんの報告は、グループ討論でも大いに盛り上がりました。  
(レポート:石田 直也さん)

# 南西・県西・ドラゴン支部合同

5月19日(水) Zoom配信  
報告者:須藤 利明さん (有)リカーショップスドウ 代表取締役  
『経営指針の重要性  
～コロナ禍の一年を振り返る、リカーショップスドウの実践～』



新年度、最初の例会は三支部合同で開催しました。報告者は南西支部会員の(有)リカーショップスドウの須藤さんです。私は作り込みからこの例会に関わらせていただき、コロナ禍ではありますが前を向いて新たな挑戦をするという須藤さん自身、常に指針があるという事を感じました。須藤さんは父親・個人としても指針・目的・目標をもち、そしてブレない自分でモチベーションを上げていくその生き方は、人間力にあふれています。これからトップに求められるのはこの人間力を土台とした経営

力なのではないでしょうか？  
本日のテーマ、「常識を疑え」まさしく今までの常識はこれからの常識ではなくなります。新しいものがどんどん形を変えてくると思います。変えられるもの、変えられないものというテーマでお話をいただきましたが、変えることの出来るものを変える勇氣、そして変えることの出来ないものを受け入れる冷静さ、変えることの出来るものと変えることの出来ないものを識別する賢さというのが、これからの経営者には必要とされているのではないのでしょうか？本日の例会を基に、このコロナ禍の中、生き残る企業を私たちは目指していきたいと思います。  
(レポート:宇田川 真由美さん)

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう